

安全保障理事会議長声明

「ギニアビサウ情勢」と名付けられた議題に関する安保理の審議に関連して、2009年11月5日に開催された安全保障理事会第6213回会合において、安全保障理事会議長は、安保理を代表して以下の声明を発した。

安全保障理事会は、ギニアビサウに関する従前の安保理諸声明および諸決議を想起し、ギニアビサウにおける開発およびギニアビサウにおける国際連合平和構築支援事務所 (UNOGBIS) の活動に関する事務総長の最新の報告書 (S/2009/552) に留意する。安保理は、同国における平和を強化するための継続する取り組みに対する安保理の支援を再確認する。

安全保障理事会は、2009年6月28日と7月26日に開催された平穏な大統領選挙および9月8日のマラム・バカイ・サーニャ大統領の就任を歓迎する。安保理は、刑事責任の免除と戦い、国民的和解を助長した社会・経済開発を成し遂げる大統領の公約にまた留意する。安保理は、ギニアビサウの国民の人権および基本的自由が完全に保護されなければならないことをくり返し表明する。安保理は、ギニアビサウの陸軍に対し、文民当局が遵守し憲法に規定された秩序を尊敬するその公約が完全に守られることを確実にすることを促す。

安全保障理事会は、「ギニアビサウに関する紛争：原因、防止、解決および結果」に関する国民会議を開催する国民議会の計画にもまた留意し、同国における国民的和解を確実にすることを目的とする包括的政治対話過程を実施する必要性を強調する。

安全保障理事会は、ギニアビサウにおける持続的平和を確実にするために民主主義、治安、法の支配、国民的和解および刑事責任の免除に対する戦いを強化する重要性をくり返し表明する。これに関連して、安保理は、要請に基づいた、2009年3月と6月の政治的暗殺に、国際標準に従って、信頼のおける、徹底したかつ迅速な捜査を実施することにおいて、ギニアビサウ政府を支援するための国際連合、アフリカ連合、西アフリカ諸国共同体 (ECOWAS) およびポルトガル語国共同体 (CPLP) の間の継続中の協議に留意する。安全保障理事会は、ギニアビサウ政府に対し、この過程を促進することを求め、また、上述の組織および国際社会全体に対し、この目的のためにかれらの支援を始めることを求める。

安全保障理事会は、ギニアビサウ政府が直面している課題、とりわけ治安部門が効果的で、専門的かつ責任があることを確実にすること、を強調する。これに関連して、安保理は、国際的協力者が支援すべき治安部門改革のための効果的かつ包括的な国民的戦略に従事した履行する必要性を強調する。安保理は、この地域における欧州連合およびその他の国際的關係者により既に実施された活動を考慮して、ギニアビサウにおける治安部門改革に対する国際社会により提供された支援の効果的調整のためのギニアビサウに対する事務総長の特別代表およびギニアビサウにおける国際連合統合平和構築事務所 (UNIOGBIS) を通しての、事務総長に対する安保理の要求をくり返し表明する。

安全保障理事会は、西アフリカにおける薬物取引および組織犯罪に対するギニアビサウ対麻薬活動計画および ECOWAS 計画の枠組内で必要な行動を取ることを、ギニアビサウ政府に対し促す。安保理は、ギニアビサウにおける事態が、とりわけ地域の安定に対する脅威を引き起こしうる増加する薬物取引および組織犯罪の結果として極端に脆弱になり続けていること、また、共同責任という方法で対処されるべきことを更に指摘する。この文脈において、安保理は、西アフリカにおける組織犯罪および薬物取引に対する戦いを支援する ECOWAS に関連する西アフリカ沿岸イニシアティブの履行における進展を歓迎し、国際連合薬物犯罪事務所 (UNODC)、平和維持活動局、政治局および国際刑事警察機構

(INTERPOL) を賞賛し、国際社会に対し、この提携および治安部門改革の一部として法執行および国境管理を含む警察および国内治安に関する活動を強化するための国家当局の取組を支援し続けることを求める。

安全保障理事会は、国際社会に対し、すぐに影響がある事業の実施を含む、平和構築委員会によって 2008 年 10 月 1 日に採択された、ギニアビサウにおける平和構築のための戦略的枠組の実施のために時宜をえたかつ適切な支援を提供することを求める。安保理は、援助国間の相乗作用構築の重要性に留意する。安保理は、ギニアビサウにおける平和構築のための戦略的枠組の第一回再検討のための準備に更に留意し、その完了を期待する。安全保障理事会は、ギニアビサウに関する平和構築委員会国家特定展開部の活動に対し安保理の支援をくり返し表明する。

安全保障理事会は、2010 年 1 月 1 日の UNOGBIS から統合平和構築事務所 (UNIOGBIS) への移行のための進行中の計画を歓迎し、新しい事務所の任務の履行に関して計測しかつ進展をたどるための適切な達成目標を伴った戦略的作業計画を含む、統合的戦略枠組の時宜を得た展開を期待する。

安全保障理事会は、ギニアビサウが直面している問題の解決における地域的次元の重要性をくり返し表明し、これに関連して、同国の平和構築過程における ECOWAS、アフリカ連合、CPLP および欧州連合の役割を歓迎する。